

Wハザード（地震・洪水）に備え、輪之内町と防災連携訓練を実施！

【概要】

岐阜県西濃地区に大雨が降り、大樽川において内水被害が発生。また、翌日、南海トラフを震源とした巨大地震が発生したという複数の災害が同時期に発生したという想定で、防災関係機関及び地域住民の協力・連携の下、輪之内町において防災訓練が開催されました。

当訓練において、国土交通省木曾川上流河川事務所は、輪之内町と連携し、リエゾン派遣及び排水ポンプ車による排水操作訓練を実施しました。

【実施日】平成25年9月1日（日）

【場所】 輪之内町役場、輪之内町福束小学校

【主催】 輪之内町

【木曾川上流河川事務所連携メニュー】

- ① リエゾン派遣訓練
- ② 排水ポンプ車による排水訓練
- ③ 東日本大震災を風化させないプロジェクトパネルの展示

【国と町による防災連携訓練】



輪之内町長から国土交通省にリエゾン派遣及び排水ポンプ車の出動要請の連絡を受ける訓練



輪之内町地震対策本部に合流したリエゾン派遣隊

※「リエゾン」とは、国土交通省職員が市町村等へ派遣され、災害情報を収集したりする情報連絡員のこと。



排水ポンプ車による排水訓練を見学する町民



排水ポンプ車の概要説明をする細野揖斐川第二出張所長



排水ポンプ車（30ms/minの排水能力）

【その他、町独自による訓練の様子】



水防訓練（積み土のう工）



負傷者救急処置訓練



倒壊家屋救出訓練

【出張所コメント】

- 近年、地球温暖化など気候変動に伴い、自然災害が巨大化・複雑化してきていますが、それらを、施設整備などによって完全に防御することは、予算的にも時間的にも限界があります。災害時における被害を最小化するためには、今回、訓練で取り組んだような国と関係自治体との連携についても、当然、重要なことではありますが、まずは、住民一人一人が自立的に避難が出来るよう、日頃から備えておく必要があります。